

2022 年度 JICA 地球ひろば主催（後援：日本国際理解教育学会）
国際理解教育／開発教育指導者研修 募集要項

世界のリアルとつながる授業実践
～多様化する世界の中で生きる力を育む～

1. 背景

国際協力機構（JICA）は日本の政府開発援助（ODA）を一元的に行う実施機関であり、約 150 の国・地域で国際協力を展開しています。日本国内においては、これら国際協力を通じて得た知見を生かし、「持続可能な社会の創り手」の育成を目指す新学習指導要領などの学校教育の動向を踏まえ、「教師海外研修」「国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト」「地球ひろば施設訪問」「国際協力出前講座」「開発教育メールマガジン」「開発教育教材作成」など、国際理解教育/開発教育を支援する様々な事業を行っています。

国際理解教育/開発教育指導者研修は、2014 年度より「教師海外研修」に参加経験のある方を対象に、継続的な国際理解教育/開発教育の授業実践促進をねらいとして開始されました。現在は「教師海外研修」への参加経験の有無に関わらず、国際理解教育/開発教育の授業実践に取り組み、各地域における国際理解教育/開発教育の推進者として活躍が期待される全国の学校教員の方々を対象に実施しています。また、2018 度からは、専門的なアドバイスをいただくため、日本国際理解教育学会の協力を得て実施しております。

2. 研修の目的

本研修では、新学習指導要領の「持続可能な社会の創り手」の育成を念頭に、国際理解教育/開発教育に関する知見や事例の共有を通じて、教員としての専門性を高め継続的かつ効果的な授業実践を行うことが期待されています。参加者は、本研修で培われた教員間のネットワークを生かし、研修後も授業実践紹介や知見の共有を実施し、各地域の学校および教育関係者への国際理解教育/開発教育の理解促進、多文化共生の促進に寄与することを目指します。

また、本研修では、JICA が用意している教員向けの様々な教材を積極的に活用し、授業実践を行うことが期待されています。

3. 今年度テーマ

世界のリアルとつながる授業実践～多様化する世界の中で生きる力を育む～

環境問題や人権問題、コロナウイルス感染症による社会への影響や日々変化するウクライナ情勢等、刻々と世界の状況は変化しています。現在の世界の状況を見極めることは容易ではありません。しかし、21 世紀を生きる児童生徒は、このように急速に変化する世界の、そして多様性ある社会において、自ら考え、行動する力、未来にむけて生きる力が必要です。2020 年度より導入された新学習指導要領においては、「持続可能な社会の創り手」の育成の重要性が明記され、教科書にも SDGs（持続可能な開発目標）が掲載されるようになりました。国際理解教育/開発教育は、世界のリアルとつながるための重要な取り組みとして注目されています。

2022年度本研修のテーマ「世界のリアルとつながる授業実践～多様化する世界の中で生きる力を育む～」は、研修参加者が、世界と地域の課題・多様性を取り上げ、指導案作成・授業実践の更なるレベルアップに取り組み、また、研修後は国際理解教育／開発教育の推進のリーダーとして取組んでいただくことを目指して設定しています。

4. 研修日程

前半研修 2022年8月13日（土）および14日（日）

後半研修 2023年2月4日（土）および5日（日）

※新型コロナウイルス感染状況に応じ、対面研修をオンライン研修に変更する場合があります。

5. 会場

JICA市ヶ谷ビル内会議室（予定）

〒162-8433 東京都新宿区市谷本村町10-5

<https://www.jica.go.jp/hiroba/about/map/index.html>

6. スケジュールおよびプログラム概要

(1) 前半研修 2022年8月13日（土）および14日（日）

日程	プログラム等	内容
2022年 8月13日（土） 9:30-17:30	1日目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国際理解教育/開発教育の実践者による講演 ■ 国際理解教育/開発教育アドバイザーによる講義、ワークショップ <ul style="list-style-type: none"> ● 新学習指導要領を踏まえた国際理解教育/開発教育の授業づくりのポイント ● 優れた授業をつくるために ● 授業素材を選ぶ、切り取る、学習指導案の骨子を組み立てる ■ 全体共有
2022年 8月14日（日） 9:30-17:00	2回目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公開セミナー（国際理解教育/開発教育有識者による講演） ■ 国際理解教育/開発教育アドバイザーによる講義 <ul style="list-style-type: none"> ● JICA リソースの効果的な活用 ■ 授業骨子（案）の共有、フィードバック、意見交換（グループダイアログ） ■ 全体共有
9月4日（日） 締切	学習指導案 （初稿）提出	前半研修の学びを踏まえ、実践したい授業をイメージした学習指導案を作成・提出

8月～11月末までに適宜実施	学習授業案のブラッシュアップ	アドバイザーからのフィードバック&コメントを基に学習指導案をブラッシュアップ・提出し（複数回）、完成させる
9月～12月末までに適宜	授業実践	ブラッシュアップが完了した指導案を用いて、各自の所属校にて授業実践
2023年 1月4日（水） 締切	報告書の作成・提出	指導案の作成と授業実践を振り返り、報告書を作成・提出

(2) 後半研修 2023年2月4日（土）および5日（日）

日程	プログラム等	内容
2023年 2月4日（土）終日	1日目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 授業実践報告&意見交換
2023年 2月5日（日）終日	2日目	<ul style="list-style-type: none"> ■ 公開セミナー（基調講演&研修参加者代表者による授業実践報告） ■ 講義・ワークショップ ■ 国際理解教育／開発教育の普及・促進に向けての意見交換

※プログラムの詳細は、参加者決定後、運営事務局から別途ご連絡します。

※各プログラムの内容や時間は変更になる場合がありますこと、ご了承ください。

7. 実施体制

主催 独立行政法人 国際協力機構（JICA）広報部地球ひろば推進課

運営事務局 一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)

後援 日本国際理解教育学会

※運営事務局：研修の円滑な実施運営のため、JICAが委託する外部機関で構成する運営事務局を設置し、同事務局を通じ、研修参加者に対する連絡・調整を行います。

8. 募集人数

25名（予定）

9. 応募資格

以下の参加資格要件を全て満たす方を対象に募集します。

- ① 国際理解教育/開発教育の授業実践経験がある小・中・高校、特別支援学校に勤務する教員であること。
- ② 本研修の趣旨・目的を十分理解し、上記の研修期間のプログラムに参加可能であること。

- ③ テーマ【世界のリアルとつながる授業実践～多様化する世界の中で生きる力を育む～】に沿って、学習指導案の検討、作成、授業実践、実践報告に意欲的に参加すること。
- ④ 本研修を通じて得られた学び・成果を所属する学校内及び各地域の教育委員会、各種教員ネットワーク（研究会、勉強会等）の場において積極的に共有・紹介する意欲のあること。
- ⑤ JICA 国内拠点や各県所在の JICA デスク（国際協力推進員）等と連携・協力しながら、授業実践の紹介やセミナー・研修にも携わり、開発教育/国際理解教育の普及促進に貢献する意欲があること。

※応募者多数の場合、地域、校種、参加動機、過去の実践経験・実践事例、希望するテーマ等の全体バランス等を考慮の上、参加者を決定いたします。

※過去に本研修に参加経験のある方も歓迎します。

10. 応募方法

- (1) 応募特設サイトにアクセスし、必要事項を記入するとともに、以下(2)の提出書類を添付の上ご応募ください。

応募特設サイト URL : <https://j-gift.org/2022jica-domestic-training-appform/>

- (2) 提出書類（※応募時に提出いただいた書類は、返却しませんのでご注意ください。）

- ① 志望動機（必須）

本研修への応募理由・動機、研修に期待すること等について、Word 等で作成し、ファイルを応募サイトに添付してください（500～800 字程度）。

- ② 授業実践事例（任意）

上記 9-①に関して、これまでにご自身が実践した国際理解教育・開発教育の授業の学習指導案もしくは授業案を添付してください。（可能であれば過去 1 年以内のもの。書式は問いません。）

- ③ 応募締切 **2022年7月4日(月) 午前10時**

2022年7月12日(火) 午前10時まで延期となりました

11. 参加決定について

7月末日迄に JICA 地球ひろば主催「国際理解教育/開発教育指導者研修」運営事務局より応募者全員にご連絡します。

12. 参加費用

以下の経費について、当機構の旅費規定に基づき、JICA が負担します。

- ① 本研修参加のための国内移動（自宅～研修場所）にかかる旅費（経済路線）

- ② 宿泊費は 8,200 円/泊を上限として JICA が負担します。（超過分は自己負担）

※その他、研修に参加される際の食費、個人的費用については参加者本人の負担となります。

13. その他

- 参加者の研修中の扱い（年休／研修（職専免））などは所属先の判断によりますので、ご自身でご確認をお願いします。
- 本研修では、JICAにおける労災保険等の適用はありません。所属先の業務出張扱いで参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の公務上災害に対する補償措置を行ってください。
- 本研修を通じて作成された学習指導案や授業実践報告資料一式は、研修参加者間の相互の学びのため、全研修参加者に共有します。また、他の教員の方々にも広くご参照・活用いただくために、JICA 地球ひろば HP、メールマガジン、その他各種広報誌等を通じてご紹介させていただく場合がございますので、可能な範囲でご協力をお願いします。
- 個人情報に関するお願い
※応募時にいただいた個人情報は、利用の可否を確認のうえ、本研修以外の JICA の研修やイベントの情報提供に使わせていただく場合があります。いただいた個人情報は、JICA の内部規程（個人情報保護に関する実施細則）に基づき、適切に管理いたします。
<https://www.jica.go.jp/joureikun/act/frame/frame110000019.htm>
- 学校教育を支援する取組として、雑誌・書籍への寄稿・取材、教材制作へのアドバイス等を研修参加者へお願いする場合があります。
- 新型コロナウイルス感染症の蔓延等により、研修の期間・場所を変更する場合があります。
- 参加者の研修後の開発教育/国際理解教育への取組について、JICA の開発教育/国際理解教育支援事業及び研修のさらなる充実・改善に生かすため、後日アンケートへのご協力をお願いする場合がありますので、ご協力をお願いします。

以上

<問い合わせ先>

一般社団法人 グローバル教育推進プロジェクト(GiFT)
(JICA 地球ひろば・教員向け研修運営事務局)
TEL : 03-4577-6767 E-mail : jica-edu@j-gift.org